

---

 資 料
 

---

## 配偶関係別生命表：1995年

石川 晃

## 1. はじめに

死亡の研究は、性差、死因構造ならびに地域差等の分析と同様に、社会・経済的な属性についても行われている。死亡率と密接に関連している社会的属性として代表的なものとしては、配偶関係別、職業別（あるいは産業別）就業者<sup>1)</sup>などがあり、そのうち配偶関係は、社会的属性ではあるものの、人口の基本的属性である性および年齢と同様に基本的、かつ重要な属性でもある。それは、配偶関係の違いによって社会活動の最小単位である世帯構成や家庭・日常生活の状態等が異なる場合が多く、そのような配偶関係による個々の社会活動や生活環境の違いは、健康状態に少なからず影響を及ぼすと考えられる。

また、近年におけるわが国の配偶関係構造は、著しく変動している。それは、晩婚化あるいは非婚化による若年齢層の未婚人口割合の増加ならびに有配偶人口割合の減少、離婚率の増加による離別人口割合の増加、さらに死亡率低下に伴う死別人口割合の減少等、配偶関係構造が急速に変化している。さらに、各配偶関係の年齢構造も同時に変化してきており、そのような人口構造の変化は、わが国の死亡水準を変化させることになる。

そこで、配偶関係別生命表を作成し、男女別に配偶関係別の死亡状況の差異、あるいは結婚状態が健康に及ぼす影響を明らかにすることは、わが国の死亡構造、またその動向の分析を行うためにも重要なことである。今回、1995年における配偶関係別生命表を作成し、男女別に配偶関係間の死亡差を明らかにするとともに、その時系列変化<sup>2)</sup>の分析を行った。また、配偶関係別に死因の分析を行うことにより、配偶関係格差を生じさせる要因についての考察を行った。

## 2. 配偶関係別生命表の作成方法

配偶関係別生命表は、配偶関係別男女・年齢別人口および死亡数によって、普通生命表と同じ方法によって計算できる。配偶関係別男女・年齢別人口は、国勢調査により集計されており、死亡数は人口動態統計によって得られる<sup>3)</sup>。

---

1) 職業別就業者の生命表は、石川 (1991, 1995) を参照。

1990年の結果は、石川・坂東 (1998) に掲載。

2) 1990年以前については、石川 (1988a, 1988b, 1996) を参照。

3) 今回、生命表作成に用いた統計は、以下のとおりである。

人口 (日本人) : 総務庁統計局 (1996)

死亡 : 厚生省大臣官房統計情報部 (1997)

(ただし、配偶関係別年齢別死亡数は5歳階級別の表章であるため、別途各歳別死亡数を集計して用いた。)

しかし、それら生命表作成の基礎統計は、利用するにあたって若干の問題点を含んでいる。そこで、配偶関係別生命表の問題点の整理と、それら問題点の具体的な対処方法について述べておくことにする。

まず、1) 配偶関係の定義は、国勢調査によるものと人口動態統計は若干異なっている。すなわち、国勢調査による配偶関係は、届け出の有無にかかわらず、実態もしくは事実に基づく結婚状態（事実主義）であり、また自己申告であるために、被調査者の主観によるものが多分に含まれる。それに対し、人口動態統計による配偶関係は、法律上の婚姻関係、すなわち届け出に基づいた配偶関係（届け出主義）である。しかし、人口動態統計では、届け出義務者<sup>4)</sup>によって提出された「死亡届」の配偶関係について、その後戸籍等とのチェックを行っていないため、人口動態統計の配偶関係も実際には事実婚に近いものといえよう。すなわち、ここで扱う配偶関係とは、事実上の結婚状態とみなしても支障がないものと思われる。

次に2) データの信頼性、正確性の問題である。特に国勢調査における配偶関係の記入には、ある程度の錯誤もしくは虚偽が含まれていることが考えられる。それは、男女の有配偶者数の不一致<sup>5)</sup>や配偶関係不詳が近年増加している<sup>6)</sup>ことによっても伺い知ることができる。さらに、若年齢層における死別あるいは離別した者が未婚や有配偶に、また別居している有配偶者が離別と申告するケースも予想される。そのような問題は、国勢調査に限らず人口動態統計においても同様のことが指摘できる。そこで、生命表作成においては、母集団が少数であり、なおかつ多分に漏れが発生しやすい若年齢での死別および離別の人口、特に配偶関係不詳発生率の最も高い10歳代について、死亡率算出後一般生命表（完全生命表）を用いて修正し、生命表諸関数については信頼性の比較的高い20歳以上について算出した。

さらに3) 人口動態統計と人口静態統計との期間と時期（時点）との整合性の問題がある。国勢調査は10月1日現在の人口であるのに対し、人口動態統計は1月～12月間に発生した死亡数である。本来、人口動態率の発生母集団（分母人口）には、動態発生期間における延べ人口を用いるのが望ましいが、実際にはその期間の平均人口、あるいは期間の中央時点における人口をその期間の代表人口として採用している。そこで、生命表作成の率算出に用いた配偶関係別人口は、動態期間1月～12月の中央時点である7月1日現在人口を推計することにより用いた。

そして4) 人口動態統計の死亡数には、届け出遅れ数<sup>7)</sup>が含まれていない。そこで、届

---

4) 死亡の届け出義務者は、1. 同居の親族、2. その他の同居者、3. 家主・地主または家屋もしくは土地の管理人、4. 同居の親族以外の親族である。

5) 1995年国勢調査による有配偶（日本人）人口は、男子3,178万人に対し女子3,174万人と男子の方が4万人（0.1%）多い。ちなみに、1980年以降の国勢調査についてみると女子の有配偶人口は、男子よりも多く1980年は10万人、85年3万人、90年3万人それぞれ女子が多くなっていた。

6) 国勢調査による（15歳以上日本人）配偶関係不詳の発生率は、1980年2.0‰、1985年1.5‰、1990年6.6‰、1995年5.3‰である。1995年における男女別発生率は、男子6.5‰、女子4.2‰であり若干男子の方が高い。年齢別にみると低年齢および高年齢で高率を示し、40歳前後が最も低率である。

7) 人口動態統計における死亡数は、各年1月1日から翌年1月14日までに届けられたもののうち該当年内に発生したものである。そのため、それ以降に死亡届が提出されたものについては除かれている。

け出遅れ率<sup>8)</sup>を乗ずることにより、死亡数の推定を行った。

また5)今回は、1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災による地震での死亡数を考慮する必要がある。それは、局地的あるいは一時的な災害によるため、死亡者の配偶関係の記載方法と、3)で述べた分母と分子の関係が問題となる。具体的には死亡者の配偶関係の記載については、震災や自動車事故等で夫妻が同時に死亡した場合の配偶関係の記載は、ともに「死別」として処理されている<sup>9)</sup>。そのため、この場合には本来、死亡の発生母体は有配偶であるにもかかわらず、ともに死別者を分母としている点が挙げられる。また今回のように、突発的、一時的な死亡増の際には、代表し得る人口の時点についての影響も考慮しなくてはならない。

具体的な生命表の作成は次のように行った。

まず、1995年7月1日現在男女年齢別日本人人口は、1995年10月1日現在の人口と1995年7月、8月、9月の死亡数に基づき次式により求めた(厚生省大臣官房統計情報部1998b)。

$n$ 月1日現在 $x$ 歳人口を $P^s_x$ 、 $n+1$ 月1日現在 $x$ 歳人口を $P^*_x$ 、 $n$ 月の $x$ 歳死亡数を $D^*_x$ とすると、

$$P^s_x = \frac{11}{12}P^*_x + \frac{1}{12}P^*_{x+1} + \frac{23}{24}D^*_x + \frac{1}{24}D^*_{x+1}$$

10月1日人口から上式により順次9月、8月、7月各1日現在人口を推計した。

後は、各年齢別に配偶関係別割合が10月1日現在と同じであると仮定して、1995年7月1日現在配偶関係別男女年齢別日本人人口 $P_x$ を推計した。

次に、1995年1月～12月における配偶関係別男女年齢各歳別死亡数を $D_x$ (死亡届け出遅れ率を乗じ補正したもの)とすると、中央死亡率 $M'_x$ は、

$$M'_x = D_x / P_x$$

以上によって求められた15歳以上各歳別 $M'_x$ と完全生命表(厚生省大臣官房統計情報部1998a)による0から14歳(各歳別) $M_x (= d_x / L_x)$ を用いて、データの補整を行う<sup>10)</sup>。しかし、補整を行ったとしても死別および離別の若年齢においてかなりな高死亡率を示してしまう。それは、分母人口が実際より過少となっている可能性があるため、前回

8) 過去における年次別死亡届け出遅れ数をその年次内届け出数で除し、発生経過年数別届け出遅れ率を求める。その率の合計を、今後期間外に届け出されるであろう届け出遅れ率とした。ちなみに、今回用いた1995年の届け出遅れ率は、男子1.000876073、女子1.000305048である。

9) 死亡届における「死亡した人の夫または妻」の欄には、『人口動態調査必携』によると『交通事故等による夫妻の同時死亡の場合はそれぞれ「死別」にマークすること』となっている。ちなみに、この扱いは1979年以降であり、それ以前においては、それぞれ「有配偶」として処理していた。

10) Grevilleの3次9項式を用いた。厚生省大臣官房統計情報部(1998a, 1998b)参照。

(1990年)までの計算では、そのままのデータを用いず、別途補間推定を行ってきた<sup>11)</sup>。しかし、分母人口が過少となる一要因として配偶関係不詳の多少が考えられる。そこで、年齢別配偶関係不詳の発生を加味した分母人口の差が死亡率に及ぼす影響についての検証を行った(後述の4. 配偶関係別死亡率の変化と死別死亡率上昇についての検討を参照)。その結果、死別および離別の若年齢で明らかな高率を示したため、今回は、前回までのような補間法は用いなかった。

補整された中央死亡率  $M_x$  から死亡率  $q'_x$  を次式により89歳まで求める。

$$q'_x = \frac{M_x}{1 + M_x/2}$$

求められた  $q'_x$  は、基礎データが各歳別であるため少数データによるデータのブレが生じ、必ずしもスムーズな曲線とはならない。そのため、現データ ( $q'_x$ ) の傾向を損なわない程度に、補整を行い  $q_x$  を求める。

90歳以上の  $q_x$  については、それ以下の年齢までの配偶関係間の格差が徐々に解消し、最終的な年齢に到達すると各配偶関係とも同一水準になるものと仮定し、第18回完全生命表による最高年齢である男子110歳、女子115歳まで、完全生命表の  $q_x$  を修正することにより求めた。すなわち、最高年齢を  $A^e$ 、完全生命表による  $q_x$  を  $q^*_x$  とすると90歳以上の  $q_x$  は

$$q_x = q^*_x \times \left( \left( K - \frac{K}{A^e - 89} \right) \times (x - 89) \right)$$

$$\text{ただし, } K = \frac{q_{89}}{q^*_{89}}$$

なお、20歳未満における配偶関係別死亡率はその精度に問題があるため、20歳以上について以下の式により、他の生命表関数を求める。

以下  $l_{20} = 100,000$  として、

$$d_x = l_x \times q_x$$

$$l_{x+1} = l_x - d_x$$

$$L_x = \frac{1}{2} (l_x + l_{x+1}) + \frac{1}{24} (d_{x+1} - d_{x-1})$$

$$e_x = \frac{\sum L_x}{l_x}$$

11) 石川 (1996) では、男女とも、死別の15歳から34歳と離別の15歳から19歳において不自然な高率を示すため、その間の  $M'_x$  は、完全生命表による  $M_x$  およびその年齢区間直後の  $M'_x$  を用いて補間推計した。

特定死因の影響を除去した生命表は、5歳階級別に行い、年齢階級  $x \sim x+n$  歳の第  $i$  死因による死亡数を  ${}_nD_x^i$  とすると、死因  $i$  (の影響) を除去した死亡率  ${}_nq^{(-i)}_x$  は、

$${}_nq^{(-i)}_x = 1 - \exp \left\{ \left( 1 - \frac{{}_nD_x^i}{{}_nD_x} \right) \log {}_n p_x \right\}$$

$$\text{ただし、} {}_n p_x = 1 - {}_n q_x$$

後は、 ${}_nq^{(-i)}_x$  を用いて、死因  $i$  (の影響) を除去した平均余命  ${}^{\circ}e^{(-i)}_x$  を求め、特定死因を除去した場合の平均余命の伸びは、 ${}^{\circ}e^{(-i)}_x - {}^{\circ}e_x$  によって求められる。

なお、 $x$  歳における死因 ( $i$ ) 別死亡確率  $R_x^i$  は次式によって求めた。

$$R_x^i = \left( \sum_{t=x}^{\infty} \frac{D_t^i}{D_t} \times d_t \right) / l_x$$

### 3. 結果の概要

1995年配偶関係別生命表の結果は、表1および表2に示すとおりである。その結果による20歳時平均余命は、未婚の男子49.44年、女子56.53年、有配偶の男子58.58年、女子64.96年、死別の男子47.22年、女子58.03年、離別の男子45.50年、女子59.41年となった。

20歳時平均余命の配偶関係別順位は、男女で若干異なっている。男子で最も長いのは有配偶、次いで、未婚、死別、離別の順であり、女子では、有配偶、離別、死別、未婚の順となった。男女とも1位は有配偶であり、特に男子については他の配偶関係に比べて極めて長命である。逆に最も短命なのは、男子は離別、女子は未婚となった。ちなみに、一般生命表(完全生命表)による20歳時平均余命は、男子57.16年、女子63.46年であり、男女とも有配偶は一般生命表より長命であるが、その他の配偶関係はそれより短命となった。しかし、40歳時平均余命をみると、男女とも死別の順位が3位から2位へと繰り上がり、有配偶に次いで長命となっている。

配偶関係別に20歳時平均余命の男女差をみると、全ての配偶関係で男子に比べ女子の方が長く、その差は、未婚7.09年、有配偶6.38年、死別10.81年、離別13.91年となり、最も男女差の大きいのは離別で、次いで死別、未婚、有配偶の順となった。

図1および表3によって1955年以降の推移をみると、男女とも有配偶が最も長命であるが、特に男子の有配偶は、他の配偶関係と比較して著しく高い水準を維持し、その傾向は現在も続いている。男子についてその推移をみると、1955年における有配偶の余命は50年を上回り、死別と離別が概ね同水準で約40年、そして未婚は34年と大きな隔たりをみせていた。それが1975年になると、離別の伸びが鈍化であるのに対し未婚の上昇が著しく、その結果、離別が最下位となった。さらに、1995年になると死別の低下により、有配偶以外、すなわち無配偶がほぼ同水準となった。それに対し、女子の動向をみると1955年には有配

表1 男女, 年齡5歲階級別, 配偶關係別生命表: 1995年

年齡 $x$	(1) 未 婚						(2) 有配偶					
	男			女			男			女		
	$q_x$	$l_x$	$e_x$	$q_x$	$l_x$	$e_x$	$q_x$	$l_x$	$e_x$	$q_x$	$l_x$	$e_x$
20~24	0.00372	100,000	49.44	0.00154	100,000	56.53	0.00271	100,000	58.58	0.00114	100,000	64.96
25~29	0.00440	99,628	44.61	0.00232	99,846	51.61	0.00193	99,729	53.73	0.00099	99,886	60.03
30~34	0.00673	99,189	39.80	0.00411	99,614	46.72	0.00210	99,537	48.83	0.00157	99,788	55.08
35~39	0.01126	98,522	35.05	0.00700	99,205	41.90	0.00337	99,328	43.93	0.00245	99,631	50.17
40~44	0.01921	97,413	30.42	0.01241	98,511	37.18	0.00570	98,993	39.06	0.00407	99,387	45.28
45~49	0.03422	95,541	25.96	0.01816	97,288	32.61	0.01065	98,429	34.27	0.00706	98,982	40.46
50~54	0.05855	92,272	21.78	0.02468	95,521	28.17	0.01873	97,381	29.61	0.01067	98,283	35.73
55~59	0.09251	86,869	17.97	0.03934	93,164	23.81	0.03163	95,557	25.13	0.01529	97,235	31.08
60~64	0.14869	78,833	14.53	0.05827	89,499	19.68	0.05640	92,535	20.86	0.02376	95,747	26.52
65~69	0.20552	67,111	11.61	0.08640	84,283	15.74	0.08943	87,316	16.94	0.03714	93,472	22.11
70~74	0.30805	53,318	8.95	0.15468	77,002	11.98	0.14116	79,507	13.35	0.06438	90,001	17.86
75~79	0.41646	36,894	6.82	0.28212	65,091	8.67	0.23226	68,284	10.11	0.11790	84,207	13.90
80~84	0.58717	21,529	4.93	0.45650	46,728	6.05	0.37118	52,424	7.37	0.21343	74,279	10.39
85~89	0.73644	8,888	3.58	0.67892	25,397	4.03	0.54875	32,965	5.23	0.36204	58,425	7.49
90~94	0.86375	2,342	2.58	0.84703	8,154	2.74	0.72755	14,876	3.66	0.54656	37,273	5.30
95~99	0.93318	319	1.96	0.92974	1,247	2.00	0.85296	4,053	2.66	0.71474	16,901	3.78
100~	1.00000	21	1.57	1.00000	88	1.62	1.00000	596	1.98	1.00000	4,821	2.80

年齡 $x$	(3) 死 別						(4) 離 別					
	男			女			男			女		
	$q_x$	$l_x$	$e_x$	$q_x$	$l_x$	$e_x$	$q_x$	$l_x$	$e_x$	$q_x$	$l_x$	$e_x$
20~24	0.03288	100,000	47.22	0.02415	100,000	58.03	0.02521	100,000	45.50	0.00463	100,000	59.41
25~29	0.05130	96,712	43.73	0.02285	97,585	54.41	0.01665	97,479	41.62	0.00379	99,537	54.68
30~34	0.06592	91,751	40.96	0.04200	95,356	50.62	0.02014	95,855	37.28	0.00636	99,161	49.87
35~39	0.03362	85,702	38.68	0.01281	91,351	47.73	0.02337	93,924	32.99	0.00736	98,530	45.18
40~44	0.01939	82,820	34.95	0.00849	90,180	43.32	0.03333	91,729	28.72	0.01040	97,805	40.49
45~49	0.02834	81,215	30.58	0.01091	89,415	38.67	0.05332	88,672	24.62	0.01478	96,788	35.89
50~54	0.03803	78,913	26.40	0.01472	88,439	34.07	0.08124	83,943	20.85	0.02192	95,357	31.39
55~59	0.05929	75,912	22.34	0.02053	87,137	29.54	0.11925	77,124	17.47	0.02846	93,266	27.03
60~64	0.08788	71,411	18.59	0.03008	85,348	25.11	0.17141	67,927	14.47	0.04717	90,612	22.75
65~69	0.12526	65,136	15.12	0.04559	82,781	20.80	0.21652	56,284	11.94	0.06866	86,338	18.74
70~74	0.18637	56,977	11.92	0.07577	79,007	16.67	0.29401	44,097	9.54	0.10849	80,410	14.93
75~79	0.28386	46,358	9.05	0.13571	73,021	12.81	0.39258	31,132	7.47	0.18042	71,687	11.42
80~84	0.42640	33,199	6.62	0.24443	63,111	9.40	0.51577	18,910	5.71	0.30653	58,753	8.35
85~89	0.60443	19,043	4.70	0.42147	47,685	6.59	0.65262	9,157	4.26	0.48405	40,744	5.88
90~94	0.77499	7,533	3.28	0.62933	27,587	4.52	0.80129	3,181	3.07	0.67759	21,022	4.10
95~99	0.88156	1,695	2.43	0.77865	10,226	3.26	0.89714	632	2.29	0.81458	6,778	2.97
100~	1.00000	201	1.85	1.00000	2,264	2.48	1.00000	65	1.77	1.00000	1,257	2.29

表2 男女, 年齡各歲別, 配偶關係別生命表: 1995年

(1) 未婚

年齡 $x$	男			女			年齡 $x$	男			女		
	$q_x$	$l_x$	$e_x$	$q_x$	$l_x$	$e_x$		$q_x$	$l_x$	$e_x$	$q_x$	$l_x$	$e_x$
20	0.00075	100,000	49.44	0.00029	100,000	56.53	60	0.02595	78,833	14.53	0.00973	89,499	19.68
21	0.00075	99,925	48.47	0.00031	99,971	55.54	61	0.02888	76,787	13.91	0.01080	88,628	18.87
22	0.00074	99,850	47.51	0.00031	99,940	54.56	62	0.03200	74,570	13.31	0.01189	87,671	18.07
23	0.00074	99,776	46.54	0.00031	99,909	53.58	63	0.03475	72,184	12.73	0.01301	86,628	17.28
24	0.00075	99,702	45.58	0.00032	99,877	52.59	64	0.03680	69,675	12.17	0.01425	85,502	16.50
25	0.00076	99,628	44.61	0.00035	99,846	51.61	65	0.03843	67,111	11.61	0.01544	84,283	15.74
26	0.00080	99,551	43.65	0.00040	99,811	50.63	66	0.04039	64,532	11.06	0.01650	82,982	14.97
27	0.00086	99,472	42.68	0.00047	99,771	49.65	67	0.04333	61,926	10.50	0.01749	81,612	14.22
28	0.00095	99,387	41.72	0.00053	99,724	48.67	68	0.04818	59,243	9.96	0.01892	80,185	13.46
29	0.00104	99,293	40.76	0.00058	99,672	47.70	69	0.05444	56,388	9.43	0.02119	78,669	12.71
30	0.00114	99,189	39.80	0.00063	99,614	46.72	70	0.06055	53,318	8.95	0.02409	77,002	11.98
31	0.00122	99,077	38.84	0.00072	99,551	45.75	71	0.06607	50,090	8.49	0.02753	75,147	11.26
32	0.00132	98,955	37.89	0.00084	99,479	44.78	72	0.07119	46,781	8.06	0.03172	73,078	10.56
33	0.00145	98,825	36.94	0.00093	99,396	43.82	73	0.07615	43,450	7.64	0.03740	70,760	9.89
34	0.00162	98,682	35.99	0.00099	99,303	42.86	74	0.08091	40,142	7.23	0.04438	68,114	9.26
35	0.00182	98,522	35.05	0.00105	99,205	41.90	75	0.08603	36,894	6.82	0.05118	65,091	8.67
36	0.00202	98,343	34.11	0.00118	99,101	40.95	76	0.09241	33,720	6.41	0.05690	61,760	8.11
37	0.00224	98,144	33.18	0.00138	98,984	40.00	77	0.10085	30,604	6.02	0.06274	58,245	7.56
38	0.00247	97,924	32.25	0.00159	98,848	39.05	78	0.11038	27,517	5.64	0.06989	54,591	7.04
39	0.00276	97,682	31.33	0.00183	98,691	38.11	79	0.12055	24,480	5.27	0.07972	50,776	6.53
40	0.00308	97,413	30.42	0.00207	98,511	37.18	80	0.13172	21,529	4.93	0.09009	46,728	6.05
41	0.00341	97,113	29.51	0.00231	98,306	36.26	81	0.14554	18,693	4.60	0.10070	42,518	5.60
42	0.00378	96,781	28.61	0.00252	98,079	35.34	82	0.16292	15,972	4.30	0.11244	38,236	5.17
43	0.00424	96,415	27.72	0.00269	97,833	34.43	83	0.17899	13,370	4.04	0.12616	33,937	4.76
44	0.00484	96,006	26.83	0.00288	97,569	33.52	84	0.19033	10,977	3.81	0.14362	29,656	4.38
45	0.00556	95,541	25.96	0.00309	97,288	32.61	85	0.20040	8,888	3.58	0.16300	25,397	4.03
46	0.00628	95,010	25.10	0.00338	96,987	31.71	86	0.21363	7,107	3.36	0.18271	21,257	3.72
47	0.00689	94,414	24.26	0.00366	96,659	30.82	87	0.23200	5,589	3.13	0.20241	17,373	3.44
48	0.00758	93,763	23.42	0.00394	96,306	29.93	88	0.25220	4,292	2.93	0.22228	13,856	3.18
49	0.00838	93,052	22.60	0.00422	95,926	29.05	89	0.27015	3,210	2.75	0.24332	10,776	2.95
50	0.00944	92,272	21.78	0.00442	95,521	28.17	90	0.29136	2,342	2.58	0.26521	8,154	2.74
51	0.01068	91,401	20.99	0.00455	95,099	27.29	91	0.30994	1,660	2.43	0.28881	5,992	2.54
52	0.01202	90,425	20.21	0.00474	94,667	26.41	92	0.32842	1,145	2.30	0.31329	4,261	2.37
53	0.01327	89,339	19.45	0.00520	94,218	25.54	93	0.34675	769	2.18	0.33683	2,926	2.23
54	0.01456	88,153	18.70	0.00602	93,728	24.67	94	0.36490	503	2.06	0.35721	1,941	2.11
55	0.01585	86,869	17.97	0.00694	93,164	23.81	95	0.38281	319	1.96	0.37617	1,247	2.00
56	0.01725	85,492	17.25	0.00772	92,517	22.98	96	0.40046	197	1.87	0.39499	778	1.90
57	0.01885	84,018	16.55	0.00811	91,802	22.15	97	0.41778	118	1.79	0.41267	471	1.82
58	0.02089	82,434	15.86	0.00834	91,058	21.33	98	0.43473	69	1.71	0.42924	277	1.74
59	0.02327	80,712	15.18	0.00885	90,298	20.50	99	0.45127	39	1.64	0.44465	158	1.68
100-	1.00000						100-	1.00000	21	1.57	1.00000	88	1.62

表2 男女、年齢各歳別、配偶関係別生命表：1995年（つづき）

(2) 有配偶

年齢 $x$	男			女			年齢 $x$	男			女		
	$q_x$	$l_x$	$e_x$	$q_x$	$l_x$	$e_x$		$q_x$	$l_x$	$e_x$	$q_x$	$l_x$	$e_x$
20	0.00072	100,000	58.58	0.00026	100,000	64.96	60	0.00910	92,535	20.86	0.00401	95,747	26.52
21	0.00061	99,928	57.62	0.00029	99,974	63.97	61	0.01031	91,692	20.05	0.00441	95,364	25.63
22	0.00050	99,867	56.65	0.00023	99,945	62.99	62	0.01152	90,747	19.25	0.00479	94,943	24.74
23	0.00045	99,817	55.68	0.00018	99,922	62.01	63	0.01274	89,702	18.47	0.00518	94,489	23.86
24	0.00043	99,772	54.71	0.00018	99,904	61.02	64	0.01404	88,559	17.70	0.00561	94,000	22.98
25	0.00042	99,729	53.73	0.00018	99,886	60.03	65	0.01540	87,316	16.94	0.00613	93,472	22.11
26	0.00039	99,687	52.75	0.00018	99,869	59.04	66	0.01683	85,971	16.20	0.00674	92,899	21.24
27	0.00037	99,648	51.77	0.00019	99,850	58.05	67	0.01839	84,524	15.47	0.00742	92,273	20.38
28	0.00037	99,612	50.79	0.00020	99,831	57.06	68	0.02010	82,970	14.75	0.00823	91,588	19.53
29	0.00039	99,575	49.81	0.00023	99,811	56.07	69	0.02208	81,302	14.04	0.00918	90,834	18.69
30	0.00040	99,537	48.83	0.00026	99,788	55.08	70	0.02430	79,507	13.35	0.01028	90,001	17.86
31	0.00040	99,497	47.85	0.00028	99,762	54.10	71	0.02681	77,575	12.67	0.01158	89,075	17.04
32	0.00040	99,458	46.87	0.00031	99,734	53.11	72	0.02955	75,495	12.00	0.01300	88,044	16.23
33	0.00043	99,418	45.88	0.00034	99,703	52.13	73	0.03272	73,264	11.35	0.01465	86,899	15.44
34	0.00048	99,376	44.90	0.00038	99,668	51.15	74	0.03646	70,867	10.72	0.01658	85,626	14.66
35	0.00054	99,328	43.93	0.00040	99,631	50.17	75	0.04077	68,284	10.11	0.01882	84,207	13.90
36	0.00061	99,274	42.95	0.00043	99,591	49.19	76	0.04559	65,500	9.52	0.02141	82,622	13.15
37	0.00067	99,214	41.97	0.00048	99,547	48.21	77	0.05094	62,514	8.95	0.02428	80,853	12.43
38	0.00074	99,147	41.00	0.00054	99,500	47.23	78	0.05678	59,329	8.40	0.02768	78,890	11.73
39	0.00082	99,074	40.03	0.00060	99,446	46.26	79	0.06320	55,961	7.88	0.03164	76,706	11.05
40	0.00090	98,993	39.06	0.00065	99,387	45.28	80	0.07040	52,424	7.37	0.03585	74,279	10.39
41	0.00099	98,904	38.10	0.00071	99,322	44.31	81	0.07871	48,733	6.89	0.04060	71,616	9.76
42	0.00112	98,806	37.14	0.00079	99,252	43.34	82	0.08786	44,897	6.44	0.04604	68,708	9.15
43	0.00127	98,696	36.18	0.00090	99,173	42.38	83	0.09762	40,952	6.01	0.05209	65,545	8.57
44	0.00144	98,571	35.22	0.00103	99,084	41.42	84	0.10795	36,955	5.61	0.05963	62,131	8.01
45	0.00166	98,429	34.27	0.00116	98,982	40.46	85	0.11881	32,965	5.23	0.06803	58,425	7.49
46	0.00189	98,266	33.33	0.00129	98,868	39.50	86	0.13094	29,049	4.86	0.07676	54,451	7.00
47	0.00212	98,080	32.39	0.00142	98,740	38.55	87	0.14505	25,245	4.52	0.08556	50,271	6.54
48	0.00237	97,872	31.46	0.00154	98,600	37.61	88	0.16111	21,583	4.21	0.09470	45,970	6.10
49	0.00266	97,640	30.53	0.00167	98,448	36.67	89	0.17841	18,106	3.92	0.10436	41,617	5.69
50	0.00300	97,381	29.61	0.00182	98,283	35.73	90	0.19564	14,876	3.66	0.11685	37,273	5.30
51	0.00337	97,088	28.70	0.00198	98,104	34.79	91	0.21167	11,965	3.43	0.13074	32,918	4.93
52	0.00376	96,761	27.80	0.00214	97,910	33.86	92	0.22816	9,433	3.21	0.14577	28,614	4.60
53	0.00415	96,397	26.90	0.00230	97,701	32.93	93	0.24513	7,280	3.01	0.16113	24,443	4.30
54	0.00458	95,997	26.01	0.00247	97,475	32.01	94	0.26256	5,496	2.83	0.17575	20,505	4.02
55	0.00507	95,557	25.13	0.00264	97,235	31.08	95	0.28044	4,053	2.66	0.19041	16,901	3.78
56	0.00563	95,073	24.25	0.00282	96,978	30.16	96	0.29876	2,916	2.50	0.20577	13,683	3.55
57	0.00628	94,537	23.39	0.00302	96,705	29.25	97	0.31752	2,045	2.36	0.22135	10,867	3.34
58	0.00705	93,973	22.53	0.00328	96,412	28.34	98	0.33670	1,396	2.22	0.23714	8,462	3.14
59	0.00800	93,281	21.69	0.00362	96,095	27.43	99	0.35627	926	2.09	0.25314	6,455	2.96
							100-	1.00000	596	1.98	1.00000	4,821	2.80



表2 男女、年齢各歳別、配偶関係別生命表：1995年（つづき）

(3) 死別

年齢 $x$	男			女			年齢 $x$	男			女		
	$q_x$	$l_x$	$e_x$	$q_x$	$l_x$	$e_x$		$q_x$	$l_x$	$e_x$	$q_x$	$l_x$	$e_x$
20	0.00561	100,000	47.22	0.00562	100,000	58.03	60	0.01533	71,411	18.59	0.00513	85,348	25.11
21	0.00614	99,439	46.48	0.00663	99,438	57.35	61	0.01675	70,316	17.87	0.00557	84,911	24.23
22	0.00642	98,829	45.76	0.00576	98,778	56.73	62	0.01821	69,138	17.16	0.00605	84,438	23.36
23	0.00676	98,194	45.06	0.00380	98,210	56.06	63	0.01961	67,880	16.47	0.00656	83,927	22.50
24	0.00838	97,530	44.36	0.00257	97,837	55.27	64	0.02123	66,549	15.79	0.00715	83,377	21.65
25	0.00974	96,712	43.73	0.00302	97,585	54.41	65	0.02302	65,136	15.12	0.00781	82,781	20.80
26	0.00996	95,771	43.15	0.00399	97,290	53.57	66	0.02470	63,637	14.47	0.00849	82,134	19.96
27	0.01005	94,817	42.58	0.00492	96,902	52.79	67	0.02629	62,065	13.82	0.00917	81,437	19.13
28	0.01076	93,864	42.01	0.00519	96,426	52.04	68	0.02796	60,433	13.18	0.00998	80,690	18.30
29	0.01189	92,854	41.46	0.00594	95,926	51.31	69	0.03007	58,743	12.55	0.01099	79,885	17.48
30	0.01305	91,751	40.96	0.00768	95,356	50.62	70	0.03264	56,977	11.92	0.01223	79,007	16.67
31	0.01470	90,554	40.49	0.00950	94,623	50.00	71	0.03602	55,118	11.30	0.01373	78,040	15.87
32	0.01508	89,222	40.09	0.01011	93,724	49.48	72	0.04004	53,132	10.71	0.01541	76,969	15.08
33	0.01349	87,876	39.69	0.00891	92,776	48.98	73	0.04441	51,005	10.13	0.01729	75,783	14.31
34	0.01141	86,691	39.23	0.00651	91,949	48.42	74	0.04887	48,740	9.58	0.01949	74,472	13.55
35	0.00941	85,702	38.68	0.00440	91,351	47.73	75	0.05337	46,358	9.05	0.02204	73,021	12.81
36	0.00855	84,896	38.04	0.00310	90,949	46.94	76	0.05812	43,884	8.53	0.02493	71,412	12.09
37	0.00714	84,170	37.36	0.00213	90,667	46.08	77	0.06358	41,333	8.03	0.02828	69,631	11.39
38	0.00530	83,569	36.63	0.00162	90,474	45.18	78	0.07002	38,705	7.54	0.03208	67,662	10.70
39	0.00367	83,125	35.82	0.00163	90,328	44.25	79	0.07769	35,995	7.07	0.03635	65,492	10.04
40	0.00280	82,820	34.95	0.00177	90,180	43.32	80	0.08599	33,199	6.62	0.04128	63,111	9.40
41	0.00297	82,588	34.05	0.00179	90,020	42.40	81	0.09516	30,344	6.20	0.04706	60,505	8.79
42	0.00380	82,343	33.15	0.00170	89,859	41.47	82	0.10452	27,457	5.79	0.05362	57,658	8.19
43	0.00468	82,030	32.27	0.00164	89,706	40.54	83	0.11441	24,587	5.41	0.06096	54,567	7.63
44	0.00527	81,645	31.42	0.00161	89,559	39.61	84	0.12545	21,774	5.05	0.06939	51,240	7.09
45	0.00578	81,215	30.58	0.00177	89,415	38.67	85	0.13738	19,043	4.70	0.07852	47,685	6.59
46	0.00595	80,745	29.76	0.00203	89,257	37.74	86	0.15090	16,427	4.37	0.08892	43,941	6.10
47	0.00565	80,265	28.93	0.00225	89,076	36.82	87	0.16665	13,948	4.05	0.10137	40,033	5.65
48	0.00553	79,812	28.10	0.00239	88,876	35.90	88	0.18481	11,623	3.77	0.11605	35,975	5.23
49	0.00576	79,370	27.25	0.00252	88,663	34.98	89	0.20502	9,475	3.51	0.13249	31,800	4.85
50	0.00629	78,913	26.40	0.00266	88,439	34.07	90	0.22341	7,533	3.28	0.14688	27,587	4.52
51	0.00702	78,417	25.57	0.00281	88,204	33.16	91	0.24018	5,850	3.08	0.16274	23,535	4.21
52	0.00774	77,866	24.75	0.00295	87,957	32.25	92	0.25725	4,445	2.90	0.17968	19,705	3.93
53	0.00840	77,264	23.94	0.00310	87,697	31.35	93	0.27461	3,301	2.73	0.19670	16,164	3.68
54	0.00917	76,615	23.13	0.00329	87,425	30.44	94	0.29225	2,395	2.57	0.21248	12,985	3.46
55	0.01027	75,912	22.34	0.00354	87,137	29.54	95	0.31014	1,695	2.43	0.22802	10,226	3.26
56	0.01126	75,132	21.57	0.00386	86,828	28.64	96	0.32827	1,169	2.29	0.24407	7,894	3.07
57	0.01210	74,287	20.81	0.00415	86,493	27.75	97	0.34661	785	2.17	0.26008	5,967	2.91
58	0.01303	73,388	20.06	0.00442	86,134	26.87	98	0.36514	513	2.05	0.27603	4,415	2.75
59	0.01409	72,432	19.32	0.00473	85,754	25.98	99	0.38383	326	1.95	0.29191	3,197	2.61
100-	1.00000						100-	1.00000	201	1.85	1.00000	2,264	2.48

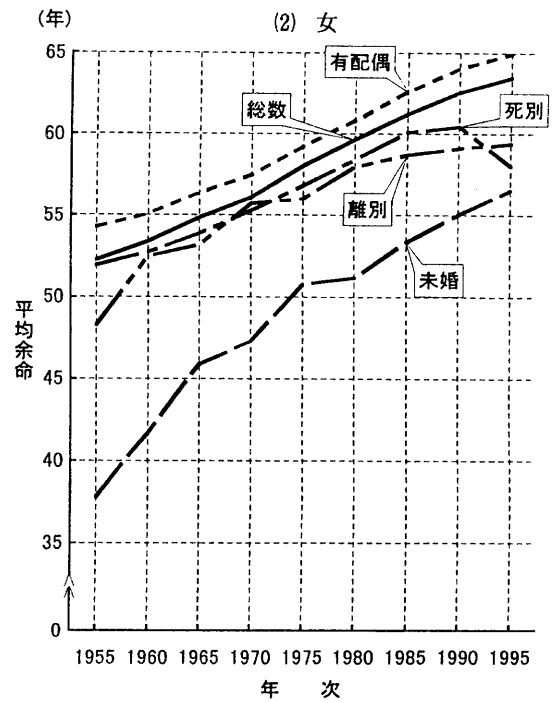
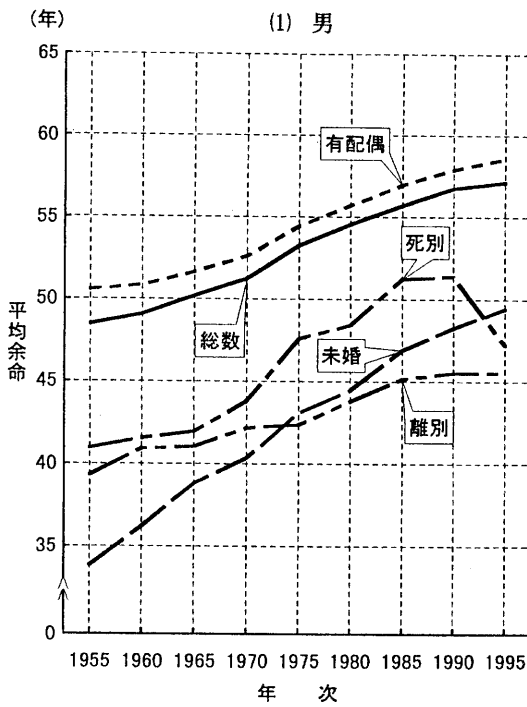
表2 男女、年齢各歳別、配偶関係別生命表：1995年（つづき）

(4) 離別

年齢 $x$	男			女			年齢 $x$	男			女		
	$q_x$	$l_x$	$e_x$	$q_x$	$l_x$	$e_x$		$q_x$	$l_x$	$e_x$	$q_x$	$l_x$	$e_x$
20	0.00516	100,000	45.50	0.00046	100,000	59.41	60	0.03185	67,927	14.47	0.00802	90,612	22.75
21	0.00607	99,484	44.73	0.00086	99,954	58.44	61	0.03415	65,763	13.93	0.00882	89,885	21.93
22	0.00574	98,879	44.00	0.00114	99,868	57.49	62	0.03677	63,518	13.41	0.00957	89,093	21.12
23	0.00473	98,312	43.25	0.00118	99,754	56.55	63	0.03969	61,182	12.90	0.01035	88,240	20.32
24	0.00377	97,847	42.46	0.00099	99,636	55.62	64	0.04204	58,754	12.41	0.01133	87,327	19.52
25	0.00324	97,479	41.62	0.00077	99,537	54.68	65	0.04325	56,284	11.94	0.01234	86,338	18.74
26	0.00324	97,163	40.75	0.00065	99,461	53.72	66	0.04404	53,850	11.45	0.01329	85,272	17.97
27	0.00330	96,848	39.88	0.00065	99,396	52.75	67	0.04598	51,478	10.96	0.01401	84,138	17.20
28	0.00349	96,529	39.01	0.00078	99,331	51.79	68	0.04981	49,111	10.46	0.01486	82,960	16.44
29	0.00530	96,192	38.14	0.00094	99,254	50.83	69	0.05503	46,665	9.98	0.01611	81,727	15.68
30	0.00362	95,855	37.28	0.00109	99,161	49.87	70	0.05955	44,097	9.54	0.01801	80,410	14.93
31	0.00378	95,508	36.41	0.00124	99,052	48.93	71	0.06292	41,471	9.11	0.02026	78,962	14.20
32	0.00404	95,146	35.55	0.00134	98,929	47.99	72	0.06630	38,862	8.69	0.02272	77,362	13.48
33	0.00435	94,762	34.69	0.00137	98,797	47.05	73	0.07099	36,285	8.27	0.02513	75,605	12.78
34	0.00451	94,350	33.84	0.00133	98,661	46.11	74	0.07646	33,709	7.86	0.02739	73,705	12.10
35	0.00456	93,924	32.99	0.00130	98,530	45.18	75	0.08177	31,132	7.47	0.03020	71,687	11.42
36	0.00458	93,496	32.14	0.00133	98,402	44.23	76	0.08707	28,586	7.09	0.03383	69,521	10.76
37	0.00465	93,067	31.28	0.00145	98,271	43.29	77	0.09342	26,097	6.72	0.03850	67,169	10.12
38	0.00479	92,635	30.43	0.00160	98,129	42.35	78	0.10145	23,659	6.36	0.04363	64,583	9.51
39	0.00501	92,191	29.57	0.00171	97,972	41.42	79	0.11049	21,259	6.02	0.04878	61,766	8.92
40	0.00552	91,729	28.72	0.00180	97,805	40.49	80	0.11710	18,910	5.71	0.05407	58,753	8.35
41	0.00618	91,223	27.87	0.00192	97,629	39.56	81	0.12259	16,696	5.40	0.06046	55,576	7.80
42	0.00683	90,659	27.04	0.00207	97,441	38.64	82	0.13213	14,649	5.09	0.06886	52,216	7.27
43	0.00734	90,040	26.23	0.00224	97,240	37.72	83	0.14382	12,714	4.78	0.07919	48,621	6.77
44	0.00791	89,379	25.42	0.00242	97,022	36.80	84	0.15876	10,885	4.50	0.08994	44,770	6.31
45	0.00880	88,672	24.62	0.00258	96,788	35.89	85	0.16996	9,157	4.26	0.10018	40,744	5.88
46	0.00984	87,892	23.83	0.00273	96,538	34.98	86	0.17696	7,601	4.03	0.11019	36,662	5.48
47	0.01087	87,027	23.06	0.00292	96,275	34.07	87	0.18455	6,256	3.79	0.12170	32,622	5.10
48	0.01193	86,081	22.31	0.00317	95,994	33.17	88	0.19872	5,101	3.53	0.13550	28,652	4.74
49	0.01306	85,054	21.57	0.00348	95,690	32.28	89	0.22177	4,087	3.28	0.15130	24,770	4.40
50	0.01449	83,943	20.85	0.00383	95,357	31.39	90	0.24089	3,181	3.07	0.16697	21,022	4.10
51	0.01598	82,727	20.15	0.00416	94,992	30.51	91	0.25812	2,415	2.89	0.18414	17,512	3.82
52	0.01714	81,405	19.47	0.00449	94,597	29.63	92	0.27556	1,791	2.72	0.20236	14,287	3.57
53	0.01779	80,010	18.80	0.00473	94,172	28.76	93	0.29317	1,298	2.57	0.22049	11,396	3.34
54	0.01862	78,587	18.13	0.00490	93,726	27.90	94	0.31094	917	2.42	0.23705	8,883	3.15
55	0.02013	77,124	17.47	0.00498	93,266	27.03	95	0.32883	632	2.29	0.25317	6,778	2.97
56	0.02236	75,571	16.82	0.00513	92,801	26.17	96	0.34684	424	2.17	0.26969	5,062	2.81
57	0.02513	73,881	16.19	0.00546	92,325	25.30	97	0.36492	277	2.06	0.28598	3,697	2.66
58	0.02778	72,024	15.59	0.00613	91,821	24.43	98	0.38304	176	1.96	0.30204	2,639	2.53
59	0.02994	70,023	15.03	0.00708	91,258	23.58	99	0.40118	109	1.86	0.31783	1,842	2.41
							100-	1.00000	65	1.77	1.00000	1,257	2.29

図1 配偶関係別20歳時および40歳時平均余命の推移：1955～95年

I 20歳時



II 40歳時

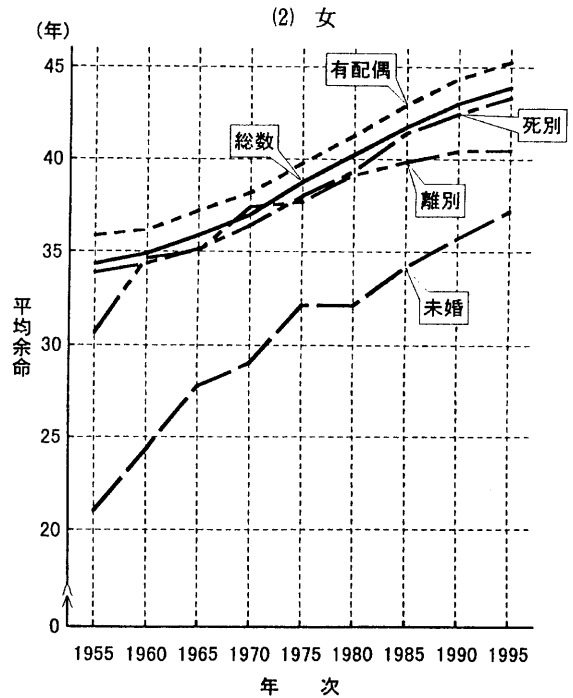
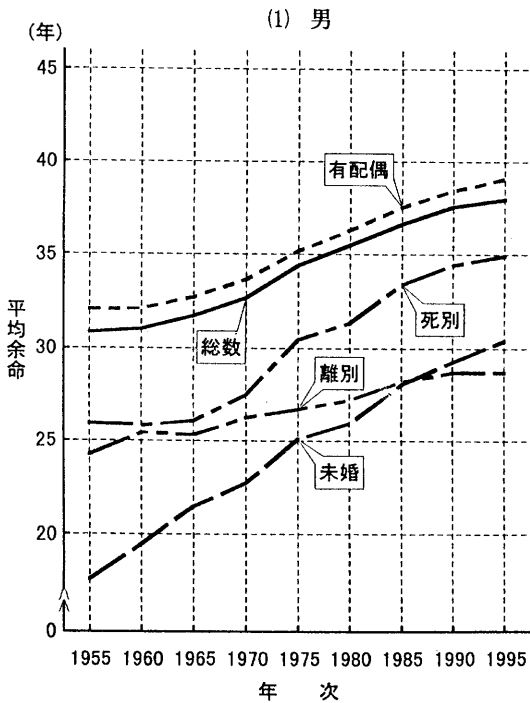


表3 配偶関係別特定年齢における平均余命の推移：1955～95年

(年)

性, 年齢, 配偶関係	1955年	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年
(1) 男									
20歳時									
総数 <sup>1)</sup>	48.47	49.08	50.18	51.26	53.27	54.56	55.74	56.77	57.16
未婚	33.80	36.20	38.83	40.33	43.10	44.48	46.88	48.24	49.44
有配偶	50.56	50.83	51.65	52.61	54.42	55.71	56.97	57.92	58.58
死別	40.95	41.55	41.96	43.80	47.59	48.41	51.23	51.41	47.22
離別	39.32	40.93	41.02	42.17	42.37	43.80	45.15	45.51	45.50
変化係数 <sup>2)</sup> (%)	14.7	12.5	11.3	10.5	10.2	9.8	9.1	9.1	10.1
30歳時									
総数 <sup>1)</sup>	39.70	40.07	40.90	41.90	43.78	45.00	46.16	47.16	47.55
未婚	25.04	27.19	29.58	30.98	33.61	34.85	37.27	38.60	39.80
有配偶	41.23	41.40	42.10	43.05	44.73	45.95	47.22	48.16	48.83
死別	32.92	33.23	33.53	35.28	38.70	37.57	42.05	42.92	40.96
離別	31.33	32.69	32.49	33.58	33.93	34.95	36.56	37.31	37.28
40歳時									
総数 <sup>1)</sup>	30.85	31.02	31.73	32.68	34.41	35.52	36.63	37.58	37.96
未婚	17.55	19.49	21.49	22.75	25.10	25.94	28.06	29.26	30.42
有配偶	32.09	32.11	32.73	33.65	35.20	36.32	37.52	38.42	39.06
死別	25.94	25.80	26.06	27.48	30.43	31.38	33.40	34.42	34.95
離別	24.26	25.42	25.33	26.26	26.69	27.25	28.22	28.69	28.72
50歳時									
総数 <sup>1)</sup>	22.41	22.39	23.00	23.88	25.56	26.57	27.56	28.40	28.75
未婚	11.26	12.94	14.50	15.73	17.88	18.30	19.99	20.87	21.78
有配偶	23.48	23.33	23.81	24.66	26.11	27.14	28.27	29.02	29.61
死別	19.36	18.98	19.19	20.13	22.55	23.52	25.29	25.95	26.40
離別	17.52	18.87	19.07	19.90	20.28	20.67	21.22	21.05	20.85
(2) 女									
20歳時									
総数 <sup>1)</sup>	52.25	53.39	54.85	56.11	58.04	59.66	61.20	62.54	63.46
未婚	37.77	41.68	45.87	47.31	50.76	51.16	53.33	55.02	56.53
有配偶	54.26	55.08	56.38	57.47	59.23	60.82	62.60	64.03	64.96
死別	51.92	52.74	53.88	55.29	56.83	58.43	60.09	60.45	58.03
離別	48.27	52.47	53.17	55.71	56.01	57.97	58.70	59.12	59.41
変化係数 <sup>2)</sup> (%)	13.1	10.3	7.5	7.3	5.6	6.3	5.8	5.4	5.3
30歳時									
総数 <sup>1)</sup>	43.25	44.10	45.31	46.50	48.35	49.90	51.41	52.73	53.65
未婚	28.92	32.57	36.49	37.88	41.21	41.45	43.57	45.22	46.72
有配偶	44.96	45.56	46.72	47.75	49.45	50.99	52.72	54.15	55.08
死別	42.77	43.46	44.39	45.76	47.32	48.80	50.60	51.35	50.62
離別	39.29	43.38	43.94	46.43	46.69	48.43	49.09	49.83	49.87
40歳時									
総数 <sup>1)</sup>	34.34	34.90	35.91	37.01	38.76	40.23	41.72	43.00	43.91
未婚	21.02	24.32	27.76	29.01	32.14	32.16	34.18	35.76	37.18
有配偶	35.85	36.18	37.20	38.16	39.79	41.26	42.96	44.36	45.28
死別	33.85	34.37	35.15	36.42	37.98	39.35	41.41	42.46	43.32
離別	30.66	34.65	35.05	37.43	37.66	39.13	39.85	40.44	40.49
50歳時									
総数 <sup>1)</sup>	25.70	26.03	26.85	27.84	29.46	30.84	32.28	33.51	34.43
未婚	14.02	17.11	19.91	20.81	23.64	23.36	25.25	26.78	28.17
有配偶	27.08	27.18	28.00	28.87	30.39	31.78	33.46	34.81	35.73
死別	25.22	25.49	26.14	27.28	28.76	30.03	32.15	33.15	34.07
離別	22.13	26.06	26.29	28.54	28.75	30.07	30.87	31.33	31.39

1) 厚生省大臣官房統計情報部『完全生命表』による。

2) 変化係数 = 標準偏差 / 平均 × 100

偶が長命であるものの死別、離別との差はそれほど隔たったものではなく、未婚が極端に短命であった。その傾向は続いてはいるものの、未婚者が他の配偶関係に比べて上昇率が高く、1995年には死別や離別とほぼ同水準にまで達しようとしている。そのため、以前にみられたような女子の未婚者と未婚者以外、既婚者との隔たりは薄れ、男子とほぼ同様な傾向になりつつあることがわかる。また、この40年間の延びをみると、最も延びたのは男女とも未婚であり、総数では男子が9年、女子が11年延びたのに対し、未婚の男子は16年、女子では19年もの伸長がみられた。逆に延びの小さかったのは男子では離別、女子は死別であった。また、死別の動向についてみると1990年まで一貫して上昇してきていたものの、1995年には男女とも短命となった。これは、作成方法でも述べたように概ね30歳代以前の若年齢層における死別者の極端な高死亡率の処理方法の違いによるものである。ちなみに、40歳時の平均余命の推移をみると、20歳時のそれとは異なり1995年における死別の減少はみられない。そのため、時系列変動を観察する際には、配偶関係別構造の比較的安定する40歳以上の死亡水準を用いて分析を行う方がより適切であり、特に死別あるいは離別の場合のように若年齢人口が少数の場合には、40歳時の平均余命を用いた動向分析を行う必要がある。

配偶関係間の平均余命格差について変化係数によってみると、1955年から75年にかけて男子では15%から10%へと、また女子についても同様に13%から6%へ急速に低下した。それは全体的な傾向ではなく、1955年時点での未婚の水準が他の配偶関係と比べて低かったものが、全体の水準に徐々に近づいたためである。その後1995年までほぼ同率で推移してきていることから、バラツキの程度は比較的安定してきているといえそうである。

次に年齢別諸関数についてみることにしよう。まず、図2によって平均余命の男子をみると、全年齢で有配偶が上位を占めているが、年齢によって2位以下の順位が入れ替わっている。まず27歳以下では、未婚、死別、離別の順に高いが、28歳以上になると死別が未婚を上回り、死別、未婚、離別の順となり、さらに、60歳前後の年齢で未婚と離別が逆転し、それ以上の年齢では、死別、離別、未婚の順になる。また、若年齢では、有配偶とそれ以外の無配偶者の差が大きいものの、40歳以上になると死別の延びが大きく、徐々に有配偶の水準に近づくため、未婚、離別との隔たりは拡大していく。女子の場合には、20歳時平均余命の順位は有配偶、離別、死別、未婚の順であるが、20歳代後半に死別が離別より上位となり、それ以上の年齢では有配偶、死別、離別、未婚の順で変化しない。また、男子の40歳以上にみられたような配偶関係の偏りは、女子の場合にははっきりとはあらわれていない。

さらに図3によって死亡率曲線の比較をすると、男女とも40歳以下で死別が極端な高率を示している。それに対して死別を除く配偶関係は比較的安定した曲線を描き、全年齢でみると男子では離別が、女子では未婚が高率を示している。

生存数について図4をみると、男女とも若年齢における死別の死亡率が他の配偶関係に比べ高率であるため、死別のみが特異な形状を示している。すなわち、死別以外の配偶関係をみると20歳から緩やかな勾配で徐々に生存数が減少していき、50歳あるいは60歳を過

図2 配偶関係別  $e_x$  の比較：1995年

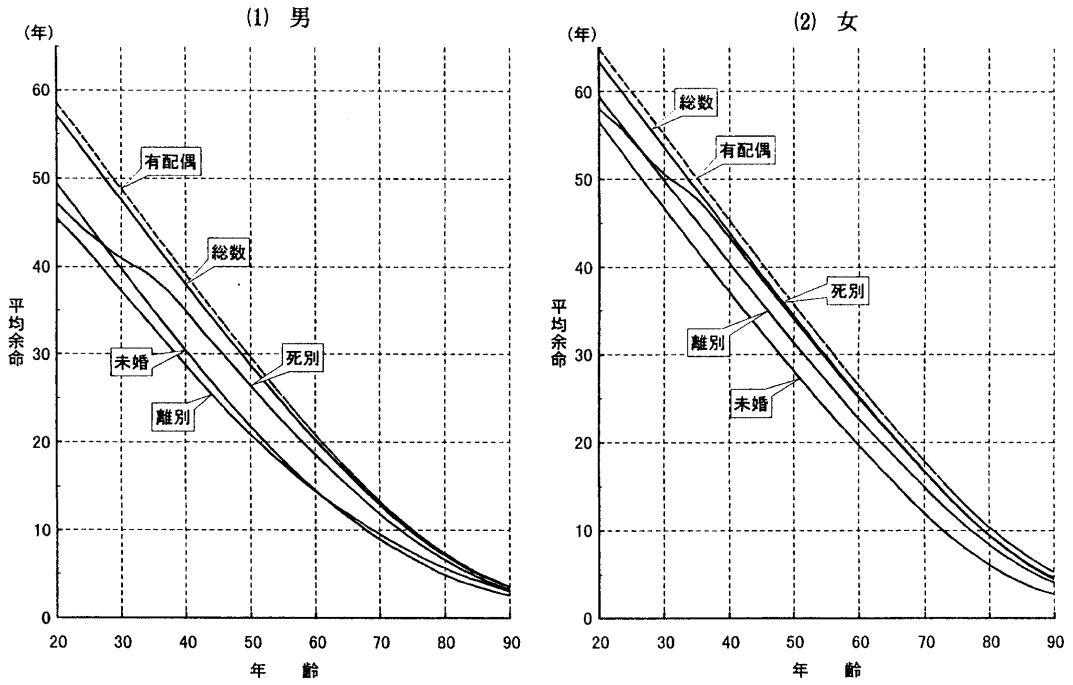


図3 配偶関係別  $q_x$  の比較：1995年

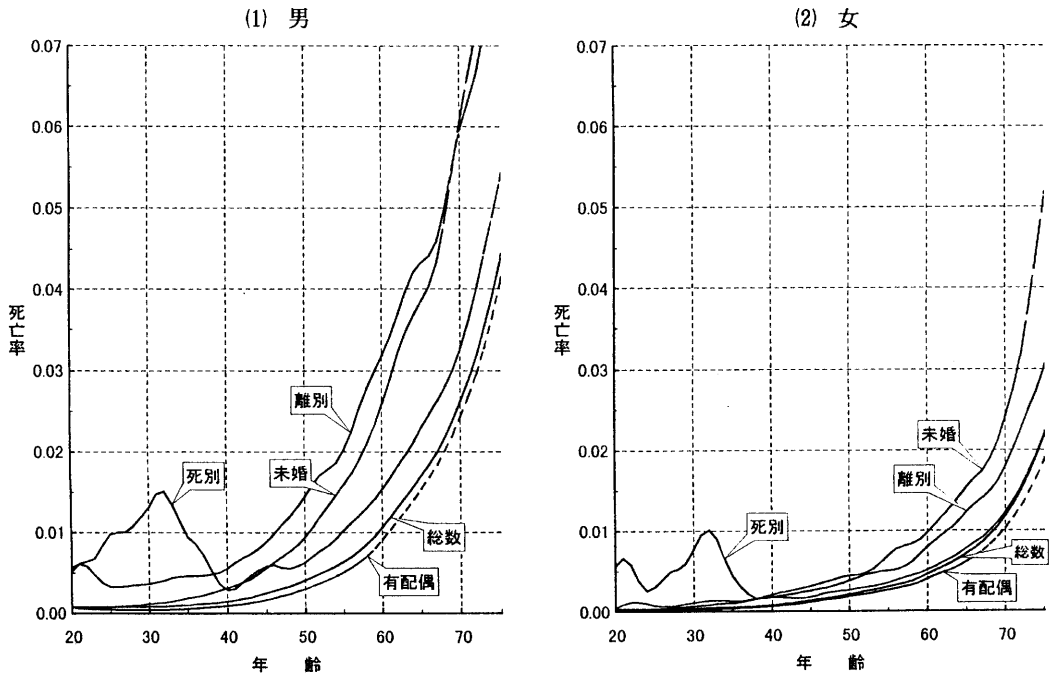
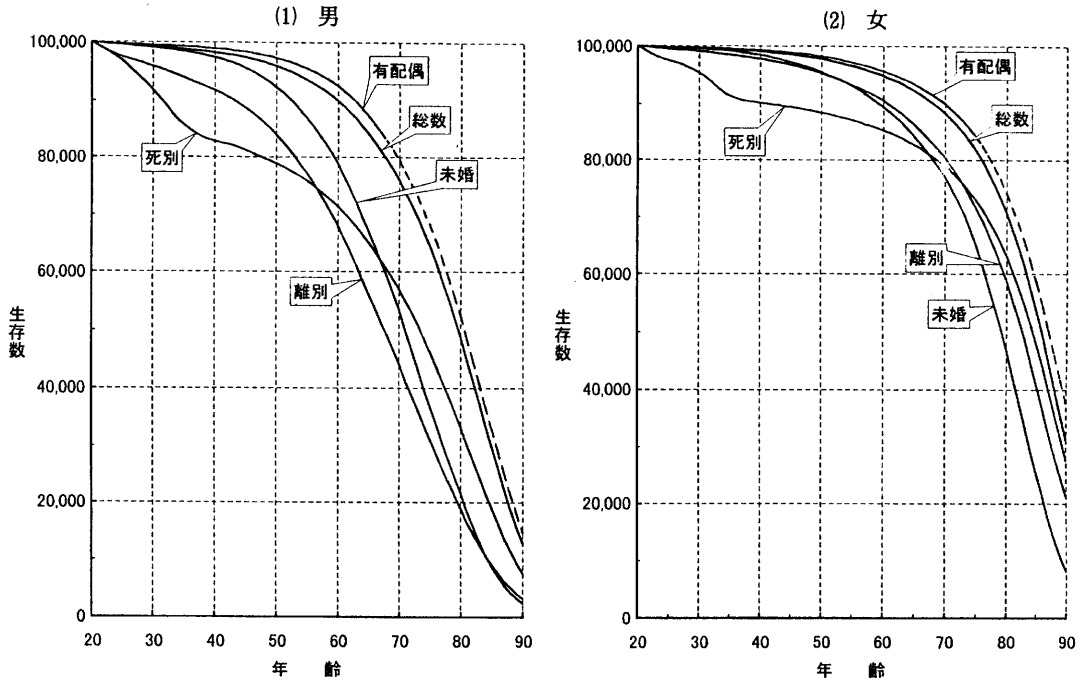


図4 配偶関係別  $l_x$  の比較：1995年



きた年齢で、急速に減少している曲線を描いている。それに対し、死別の場合には20歳から30歳代後半までは急減するものの、40歳を過ぎたところからは逆に減少の速度が緩み、60歳代で他の配偶関係（未婚、離別）と同水準に戻っている。死別以外の配偶関係をみると、まず男子では有配偶が上方に位置し、最も下方に離別、その中間に未婚が位置する。そして、未婚と離別をみると60歳前後の年齢で最も差が拡大し、高年齢になるにしたがいその差がなくなる。それに対し女子の場合には、有配偶が常に上方に位置しているのは男子と同様であるが、50歳半ば以下の年齢では、未婚と離別には大きな差はみられない。50歳半ば以上の年齢において差が生じ、未婚が最下位となり離別との差は徐々に拡大していく。

#### 4. 配偶関係別死亡率の変化と死別死亡率上昇についての検討

1995年配偶関係別生命表の結果で示したように、死別以外の配偶関係の死亡率は改善し、それぞれ平均余命の伸長がみられた。そこで、1990年から95年における配偶関係別死亡率の変化について概観するとともに、今回の生命表において20歳時平均余命が縮小した死別の死亡率について若干の検討をしておく。

まず、配偶関係別年齢別死亡率（中央死亡率）によって、1990年から95年の変化を表4に示した。15歳以上の総数（全年齢）による変化をみると、男子は1990年9.00‰から95年9.77‰へと0.77ポイント上昇し、女子も1990年7.24‰から95年7.76‰へと0.52ポイント、それぞれ上昇している。配偶関係別にみると、男子の死別で若干低下がみられるものの、それ以外では上昇を示した。年齢を15～29歳、30～44歳、45～59歳、60歳以上の4区分にし、

表4 配偶関係別年齢別死亡率の変化

(‰)

年齢	男					女				
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	総数	未婚	有配偶	死別	離別
1995年										
総数	9.77	2.26	10.74	71.06	21.45	7.76	1.97	3.56	37.68	8.74
15～29	0.67	0.70	0.40	9.74	3.70	0.29	0.30	0.20	4.45	0.82
30～44	1.28	2.18	0.80	5.56	5.62	0.72	1.29	0.57	2.59	1.73
45～59	5.03	10.18	3.95	9.62	16.88	2.47	5.15	2.13	3.50	4.45
60～	36.56	53.09	30.41	83.57	55.83	25.49	35.65	11.03	42.61	25.27
1990年										
総数	9.00	2.00	9.81	71.15	19.73	7.24	1.76	3.26	36.95	7.85
15～29	0.71	0.74	0.41	41.98	3.77	0.29	0.30	0.21	20.12	1.21
30～44	1.34	2.44	0.91	5.00	5.92	0.77	1.61	0.62	2.32	1.67
45～59	5.49	12.43	4.58	10.96	18.14	2.57	5.70	2.24	3.52	4.32
60～	37.71	61.58	31.24	85.51	55.03	26.54	37.99	11.54	43.05	23.12
差(1995年-1990年)										
総数	0.77	0.26	0.92	-0.08	1.73	0.52	0.21	0.30	0.73	0.89
15～29	-0.03	-0.03	-0.01	-32.24	-0.07	-0.01	0.00	-0.01	-15.67	-0.39
30～44	-0.06	-0.26	-0.10	0.57	-0.30	-0.05	-0.32	-0.06	0.27	0.06
45～59	-0.45	-2.25	-0.62	-1.34	-1.27	-0.11	-0.55	-0.11	0.03	-0.17
60～	-1.15	-8.49	-0.83	-1.94	0.80	-1.06	-2.34	-0.51	0.44	2.15

※総数は15歳以上。

その変化をみると、総数（全配偶関係）では、男女いずれの年齢区分でも低下している。配偶関係別にみると、いずれの配偶関係も概ね低下をしているものの、男女とも死別の若年齢（15～29歳）が際だった低下を示している。これは、1990年の死亡率が極端に高率であったため、前回の生命表作成では、この高率の原因は少数データによる精度に問題があると考え、補正して用いた。

また、年齢別死亡率では1990年から95年にかけて概ね低下をしているものの、総数では上昇している。これは、各配偶関係の年齢構成が高齢化したためのものであると考えられる。そこで、総数（15歳以上）の変化分を年齢構造変化と年齢別死亡率変化とに要素分解をしてみると、表5に示すように全ての配偶関係で年齢構造変化の影響により高死亡率と

表5 配偶関係別死亡率（15歳以上）変化の要素分解：1990～95年

(%)

	男					女				
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	総数	未婚	有配偶	死別	離別
1995年	9.77	2.26	10.74	71.06	21.45	7.76	1.97	3.56	37.68	8.74
1990年	9.00	2.00	9.81	71.15	19.73	7.24	1.76	3.26	36.95	7.85
死亡率変化	0.77	0.26	0.92	-0.08	1.73	0.52	0.21	0.30	0.73	0.89
死亡率変化の要素分解										
年齢構造変化による	1.23	0.50	1.61	3.04	1.70	1.41	0.52	0.58	6.10	0.73
年齢別死亡率変化による	-0.47	-0.24	-0.69	-3.13	0.02	-0.89	-0.31	-0.28	-5.38	0.16

※死亡率変化の要素分解は5歳階級別数値による。



なっただことがわかる。年齢別死亡率の変化では、男女とも離別が上昇し、他は低下している。特に死別をみると、年齢構造変化の影響は際だって大きく、逆に年齢別死亡率の変化は極端な低下を示している。

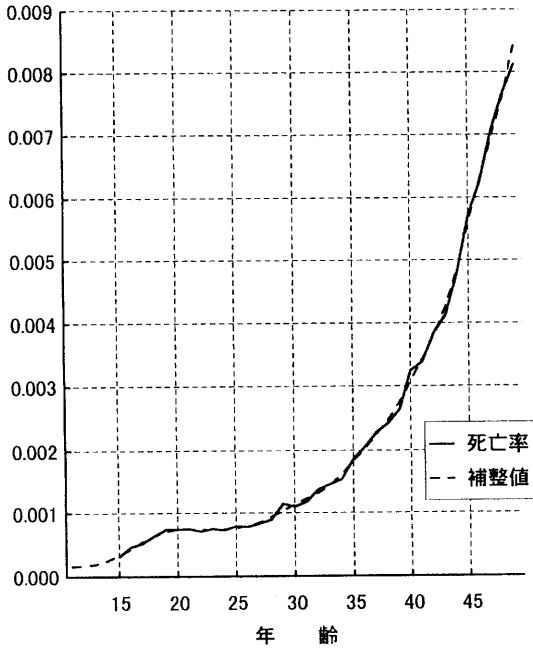
さて、各配偶関係の年齢別死亡率を比較すると、死別の若年齢層における死亡率が極端な高率を示している。これは、死別の年齢別人口、特に若年齢における死別者の人口は少数であり、そのために生じるデータの偶然変動による一時的なものとも考えられる。実際の生命表の作成では、極力このようなデータのブレは取り除き、上下の年齢や時系列的観察において合理的な説明を欠くような不自然な数値は補整をして用いている。1995年の年齢別死亡率（実績値）と補正死亡率を示すと図5のように、実績率はいずれの配偶関係においても、必ずしもスムーズな曲線とはならない。ただ、未婚、有配偶については、生命表作成に支障をきたすほどではないものの、死別あるいは離別の死亡率の曲線をみると、特に30歳以下の年齢では規則性を見い出せないほどに変動が激しいものとなっている。しかし、死別の傾向をみると、不規則ではあるものの、男女とも40歳代の水準に比べて20歳代あるいは30歳代のレベルは明らかに高率を示している。離別においても、死別ほどではないものの20歳代前半でほぼ同様な傾向を示している。

死別あるいは離別の若年齢における死亡率が高率となる原因は、この年齢層の死亡率が実際に高い場合、あるいは、分母人口が実際より過少、または死亡数が過大になっている場合に高率となる。そこで、死別を例にして、分母人口が過少になっている場合の死亡率に及ぼす影響について考えてみることにしよう。死亡率算出の分母人口は、国勢調査による配偶関係別人口を用いている。国勢調査では、若年齢層における死別、あるいは離別者が未婚あるいは有配偶と申告するケースも考え得るが、その検証は容易ではない。そこで、配偶関係の無申告、すなわち配偶関係不詳について考えてみることにする。配偶関係不詳人口が総数（15歳以上）に占める割合は、1995年で男子6.65%、女子4.27%である。ちなみに、1950年以降の動向をみると、1975年までは男女とも1%以下であったが、1980年以降約2%になり、1990年には男子7%、女子6%へと急増した。一方、年齢別にみると1995年で30歳未満は男子7%、女子5%であり、全年齢でのそれより若干高めの発生率を示している。生命表作成の場合、配偶関係不詳人口については、各年齢別に既知の配偶関係別人口をウェイトにして案分補正を行っている。そのため、若年齢では未婚の占める割合が多いため、不詳人口のほとんどが未婚に含まれてしまうことになる。仮に、若年齢での不詳の発生が少数である死別や離別から、未婚や有配偶よりも多く発生しているとしたら、当然、死亡率にも影響を及ぼすことになる。そこで、極端な仮説として、年齢毎に配偶関係不詳が全て死別からのみ発生するものとし、未婚、有配偶、離別の不詳はないとした場合と、死別と離別の両方からのみ発生した場合、との2つのケースに基づく死亡率を計算してみた。その結果は、図6に示すようになった。通常の既知の配偶関係別人口をウェイトにして案分補正を行った死亡率に比べ、2つの仮説に基づいた率は分母人口が大きくなった分、いずれの率も低くなっている。しかし、20歳代および30歳代の率の水準は、40歳代以上に比べ明らかに高率を示し、なおかつ、40歳代以上の通常の率と比較しても高くなっ

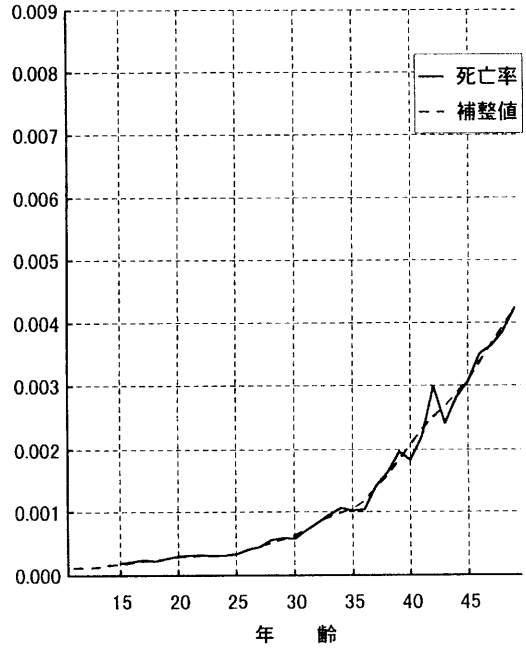
図5 配偶関係別死亡率および補整死亡率：1995年

I 未婚

(1) 男

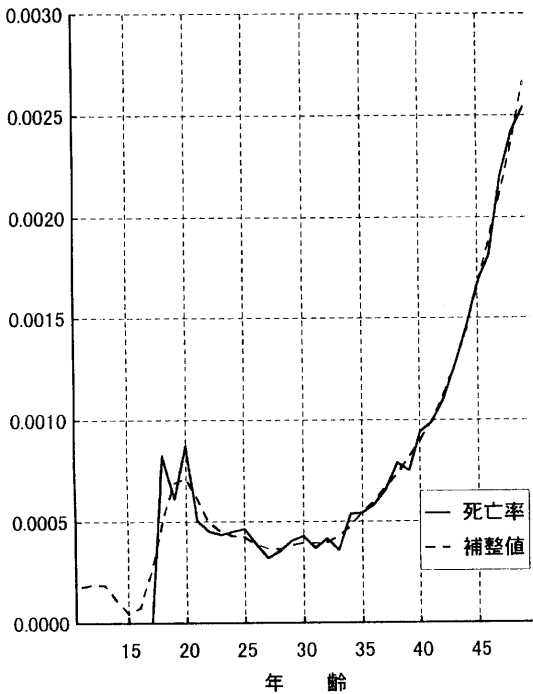


(2) 女



II 有配偶

(1) 男



(2) 女

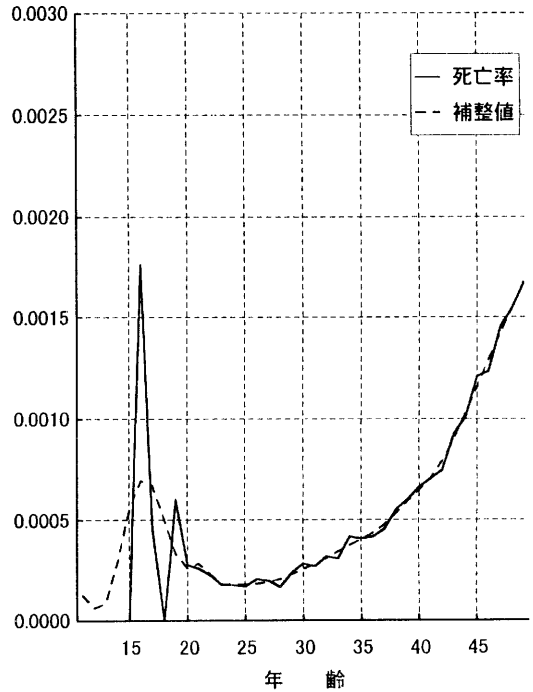
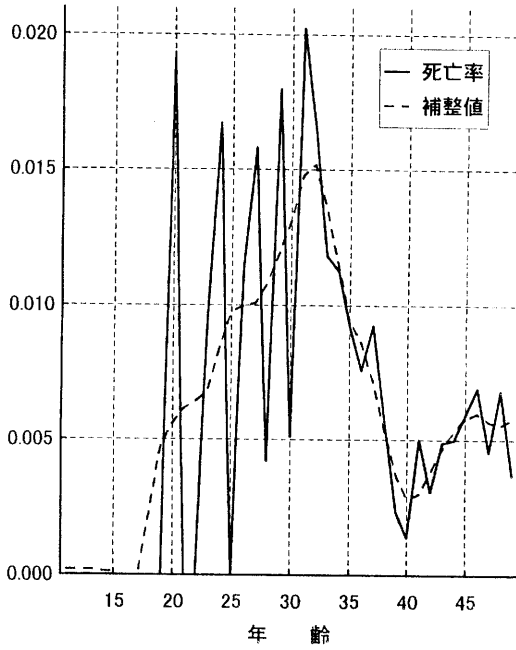


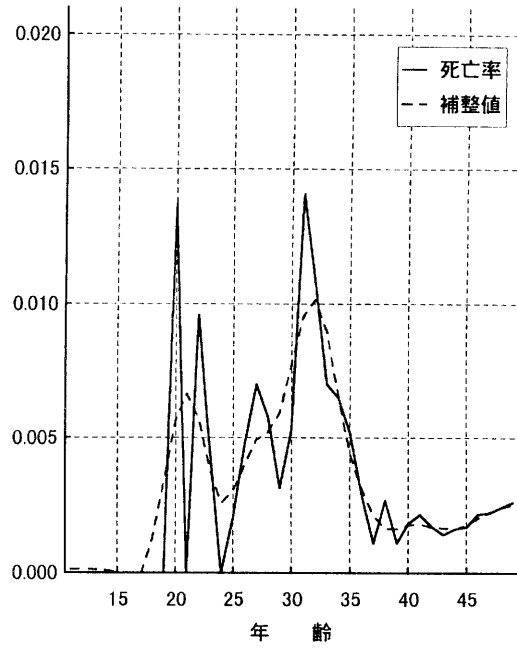
図5 配偶関係別死亡率および補整死亡率：1995年（つづき）

Ⅲ 死別

(1) 男

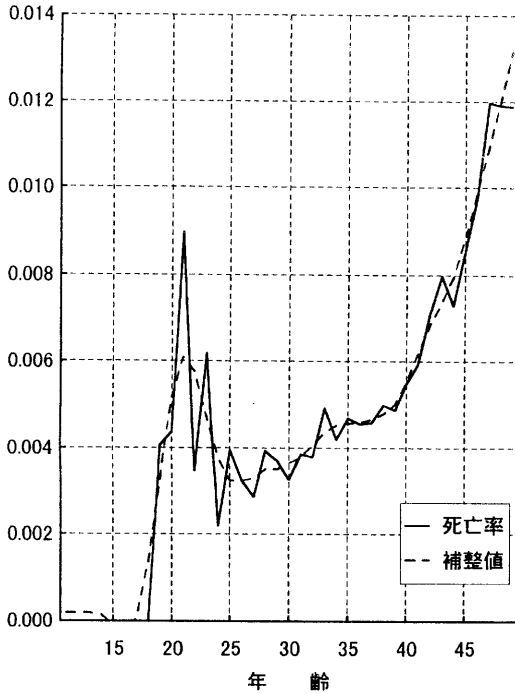


(2) 女



Ⅳ 離別

(1) 男



(2) 女

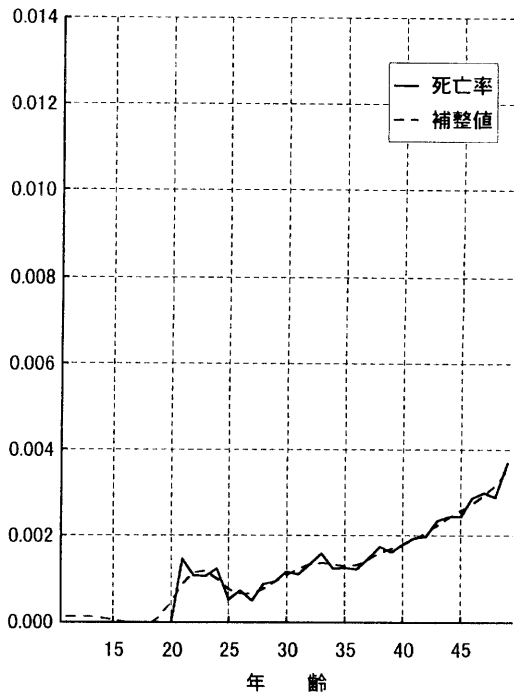




表7 兵庫県における死別者死亡割合と死亡率の推移：1975～95年

	男					女				
	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年
年齢別、死亡総数に占める死別者死亡の割合(%)										
兵庫県										
15～39歳	0.33	0.49	1.25	1.07	1.20	1.55	1.48	3.84	5.07	2.47
40～64歳	5.25	5.15	4.47	4.70	4.96	24.75	20.76	16.35	13.45	14.55
65歳以上	31.52	29.16	28.48	26.05	25.60	79.70	78.54	77.64	75.32	72.96
兵庫県の県別順位(降順)										
15～39歳	36	28	9	10	7	19	27	16	5	16
40～64歳	13	5	9	5	1	12	11	16	14	2
65歳以上	33	37	25	30	15	11	12	16	25	31
全国										
15～39歳	0.60	0.61	0.85	0.81	0.53	1.46	1.78	3.23	3.13	2.02
40～64歳	4.91	4.15	3.80	3.84	3.60	22.95	18.61	15.10	12.43	11.21
65歳以上	32.45	30.15	28.18	26.10	24.54	78.18	77.01	76.18	74.70	72.70
年齢別、死別者死亡率(%)										
兵庫県										
15～39歳	3.56	4.75	14.18	13.22	26.86	2.16	1.95	5.61	8.56	10.22
40～64歳	16.82	18.17	15.44	16.92	19.85	7.32	6.79	5.69	4.90	7.70
65歳以上	95.76	99.62	98.04	96.85	110.40	54.82	52.73	47.99	49.71	54.90
兵庫県の県別順位(降順)										
15～39歳	39	34	8	11	4	17	26	14	5	4
40～64歳	32	12	11	2	1	7	3	10	8	1
65歳以上	35	30	13	19	1	40	24	17	8	1
全国										
15～39歳	7.56	6.92	10.08	10.73	8.34	1.96	2.41	4.65	5.37	4.17
40～64歳	17.66	15.31	13.57	13.49	12.86	6.78	5.83	5.09	4.56	4.52
65歳以上	98.85	99.25	94.17	94.72	93.28	56.50	52.20	46.99	47.78	46.99

割合)と死別者の死亡率について、1975年から95年までの推移と他県との比較のため、それらの県別順位を示したものである。まず、死別者死亡の割合についてみると、1995年の40～64歳は男女とも全国で1、2位と割合が多いが、15～39歳および65歳以上では、必ずしもそうとはいえない。1975年からの変化をみると、兵庫県の死別者死亡の割合は比較的多いことがわかる。さらに、死別者の死亡率をみると、1995年の死亡率は高率を示し、特に40歳以上の高齢者では全国のトップに位置している。しかし、近年の状況をみるといずれの年次においても兵庫県は上位にあり、必ずしも阪神・淡路大震災の影響のみによるものであるとはいきれない。

以上のように、観測された若年齢における死別者の高死亡率は、少数であるためのデータの変動や分母人口の過少等に起因するものではなく、40歳代の死亡率に比べ明らかに高率を示している。しかし、死別の死亡率については、夫妻すなわち共に有配偶者が同時に死亡した場合に、死別者の死亡として処理されている。そのため、そのようなケースの場合には、分母である死別人口には含まれず、分子である死別者の死亡のみにカウントされるため、死別者の死亡率は実際よりも高率となってしまうことになる。ちなみに、夫婦が同時に死亡する場合は、自動車事故などの「不慮の事故」や「自殺(心中)」など外因死

にのみ発生し得る。そして、そのような外因死，特に不慮の事故は，比較的若年齢層での発生率が顕著に高い。そのため，若年齢における死別者は高死亡率になると考えられる。そこで，そのような影響を除去するためには，共に有配偶者の死亡として処理をするか，あるいは実際に存在していても死別人口に含んで処理をするか，の2つの方法が考えられる。しかし，それらの処理をするためには，夫婦の同時死亡のデータが必要であるが，そのような集計はされておらず，また，その推計をすることもできない。そのため，1990年およびそれ以前の計算では，極端な高率を示す年齢層のほぼ最終年齢である40歳までは，実際のデータにとらわれず，20歳から30歳代後半までの高率を示す年齢をカットし，別途補間をして用いた。

しかし，実際にこの年齢層で変動が大きくとも，40歳代よりも明らかに高率を示し，かつ，それが単年のデータのみではなく，いずれの年においても同様な傾向が見い出せるのであれば，単に少数であるという理由で実際データを無視するわけにはいかないであろう。また，高率となる原因が死別の統計処理上の結果であるとしても，その死亡率補正方法に最善の処理方法がない。そこで，今回の生命表作成では，死別の若年齢層における死亡率も，他の配偶関係と同様に補整死亡率を用いて生命表を作成した方が良いと考えた。また，離別の20歳代前半でも同様な傾向がみられるが，これも死別と同じに処理した。

## 5. 死因構造

配偶関係によって死亡状況の差異が認められ，また男女の配偶関係による死亡状況は必ずしも同一ではなく，それぞれに特徴が存在した。そこで，そのような配偶関係による格差，ならびに性差を生じさせる直接的要因，すなわち死亡原因についてみることにする。

表8は，各配偶関係に属している者（集団）が，どの死因によって死亡するかを示した「死亡確率」であり，表9および図7は，特定の死因を除去した場合にその集団の平均余命が何年延びるかを示したものである。それらの表，図によって，各配偶関係の死因構造，ならびにその影響によって生じる男女差，もしくは配偶関係の格差を計測することができ

表8 配偶関係別死因別死亡確率：1995年

(%)

死因	男					女				
	総数 <sup>1)</sup>	未婚	有配偶	死別	離別	総数 <sup>1)</sup>	未婚	有配偶	死別	離別
悪性新生物	28.75	20.49	29.92	23.63	24.05	19.13	23.19	19.53	18.21	21.76
脳血管疾患	15.46	13.49	15.77	13.96	12.51	19.98	16.40	21.40	19.03	17.25
心疾患	14.75	16.20	14.63	13.68	15.19	17.81	17.51	17.79	16.92	17.76
肺炎	10.77	11.86	10.82	11.13	7.82	10.84	10.83	9.98	10.62	10.95
不慮の事故	4.29	6.14	3.87	11.86	8.22	3.20	4.00	2.88	6.64	4.19
老衰	2.22	1.15	2.30	1.50	0.66	5.69	2.85	4.84	5.13	3.43
自殺	1.81	3.38	1.27	3.87	5.60	1.05	1.44	0.97	2.16	1.60
肝疾患	1.72	3.51	1.39	2.26	5.25	1.03	1.43	1.02	1.05	1.44
腎不全	1.81	1.89	1.84	1.45	1.36	2.21	2.17	2.05	2.12	2.19
糖尿病	1.33	1.68	1.29	1.29	1.90	1.51	1.56	1.39	1.45	1.62

1) 厚生省大臣官房統計情報部『完全生命表』による。

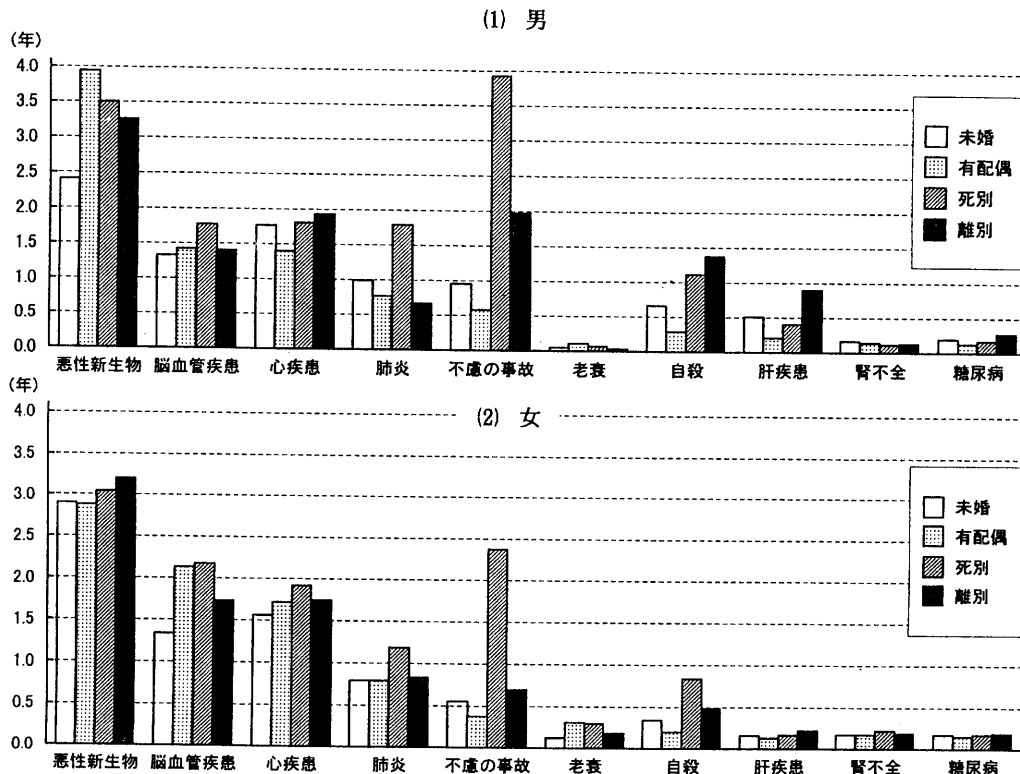
表9 配偶関係別特定死因を除去した場合の20歳時平均余命の伸び：1995年

(%)

死因	男					女				
	総数 <sup>1)</sup>	未婚	有配偶	死別	離別	総数 <sup>1)</sup>	未婚	有配偶	死別	離別
悪性新生物	3.83	2.41	3.95	3.50	3.27	2.78	2.90	2.88	3.05	3.20
脳血管疾患	1.45	1.32	1.42	1.78	1.41	1.88	1.33	2.14	2.18	1.74
心疾患	1.49	1.77	1.40	1.81	1.93	1.66	1.56	1.72	1.92	1.75
肺炎	0.80	0.99	0.77	1.79	0.67	0.83	0.80	0.80	1.19	0.84
不慮の事故	0.71	0.95	0.58	3.93	1.98	0.43	0.56	0.37	2.38	0.70
老衰	0.11	0.05	0.11	0.07	0.03	0.34	0.12	0.31	0.29	0.18
自殺	0.46	0.67	0.29	1.11	1.37	0.25	0.34	0.20	0.84	0.49
肝疾患	0.28	0.51	0.20	0.40	0.90	0.14	0.16	0.13	0.16	0.22
腎不全	0.14	0.17	0.14	0.12	0.13	0.18	0.17	0.17	0.22	0.18
糖尿病	0.15	0.20	0.13	0.17	0.27	0.16	0.17	0.15	0.17	0.19

1) 厚生省大臣官房統計情報部『完全生命表』による。

図7 配偶関係別特定死因を除去した場合の20歳時平均余命の伸び：1995年



る。「死因別死亡確率」によって各配偶関係別死因構造の比較をすると、まず、男子の配偶関係のうち20歳時平均余命が最も短命を示した離別についてみると、「肺炎」と「老衰」の確率が低く、逆に「自殺」と「肝硬変」が他の配偶関係の水準に比べ顕著に高い率を示している。離別に次いで高死亡率である死別についてみると、「不慮の事故」が高率であることが特徴的である。特に、死別の若年齢における高死亡率の主原因は「不慮の事故」

によるところが大きい。次に、未婚の状況を見ると「心疾患」で死亡する確率が高い。一方、女子のうち高死亡率を示す未婚についてみると、他の配偶関係と比較して「悪性新生物」、「肝疾患」が高率であるものの顕著な特徴はみられない。また、死別については「不慮の事故」と「老衰」、「自殺」が比較的高い確率を示している。離別は「肺炎」「肝疾患」「糖尿病」が他の配偶関係に比べ若干高率になっている。さらに、男女とも低死亡率を示す有配偶についてみると、その他に比べ「不慮の事故」と「自殺」が低率を示している。

特定死因を除去した場合の20歳時平均余命の延びをみると、死亡確率の場合とほぼ同様な傾向がみられる。特に、顕著な差となっているのは、男女とも死別者の「不慮の事故」で、配偶関係間の差を拡大させている主要因であることを示している。

以上のように、各配偶関係の死因構造をみてきたが、死因別に「死亡確率（死亡公算ともいう）」および「死因を除去した場合の20歳時平均余命の延び」の配偶関係別率（年）のバラツキの程度をみるため、変化係数を示したものが表10である。すなわち、変化係数が高率を示すほど、配偶関係間の格差が大きいことを示している。「死因を除去

表10 死因別「死亡確率」および「除去した場合の平均余命の延び」  
の変化係数：1995年

死 因	変化係数 (%)			
	死亡確率		特定死因を除去した場合の (20歳時) 平均余命の延び	
	男	女	男	女
悪性新生物	13.89	9.33	17.08	4.30
脳血管疾患	8.50	10.34	11.70	18.57
心疾患	6.10	2.01	11.52	7.24
肺炎	14.80	3.53	41.88	18.21
不慮の事故	39.09	30.98	69.85	80.26
老衰	42.46	23.44	43.09	34.35
自殺	43.69	27.58	48.29	51.22
肝疾患	46.78	16.45	50.80	19.99
腎不全	14.26	2.42	12.55	10.50
糖尿病	17.16	5.97	27.86	8.24

表8および表9による配偶関係別（総数を除く）データに基づく。  
変化係数 = 標準偏差 / 平均 × 100

去した場合の20歳時平均余命の延び」の変化係数が相対的に高率を示したのは、男女とも「不慮の事故」であり、次いで男子の場合「肝疾患」、女子の場合には「自殺」が高率を示している。死亡確率でみると、男子は「肝疾患」、女子は「不慮の事故」の係数が高く、「死因を除去した場合の20歳時平均余命の延び」とは若干異なっている。これは、平均余命の場合には、死亡確率に比べ若年齢での死亡の影響がより大きく反映されるためである。

## 6. 考察

1995年配偶関係別生命表を作成し、各配偶関係の死亡状況を比較した結果、男女とも有配偶の平均余命が最も長く、逆に短命なのは男子は離別、女子では未婚となった。1955年以降の推移をみると、男子離別の死亡率改善が他の配偶関係の伸長と比べるとやや鈍い点や、男女とも未婚の改善の程度は他の配偶関係に比べ急速であり、特に女子の場合には、従来極端に高死亡率を示していた未婚の死亡率も、他の配偶関係の水準に接近しつつあることがわかった。

男女とも有配偶の平均余命が他の配偶関係と比べて長い要因としては、結婚生活がもた



らす食生活や健康維持等、心身の安定性に起因した結果であろうと思われる。それは、有配偶者と無配偶者（未婚、死別、離別）の生活環境の違いが健康や死亡状況への影響とみられる。1955年以降の動向をみると、それは、男子の場合に端的にあらわれているものの、女子の場合には、有配偶者と無配偶者といった区分けではなく、未婚者と既婚者（有配偶、死別、離別）の間で死亡状況に大きな差が認められた。そのことは、結婚生活が及ぼす影響ではなく、結婚経験の有無に起因していることになる。すなわち、その場合心身の健康がすぐれないものが未婚となりやすく、そのために、未婚者集団の死亡率を高めたものと解釈できる。高橋（高橋 1995）は、有配偶者の低死亡率は「結婚の保護機能」が、未婚者の高死亡率は「結婚の選別機能」がそれぞれ作用し、格差を生じさせたとしている。また、わが国におけるそのような配偶関係間格差は、他の先進諸国と比較し格段に大きく、このような特異性に着目し、結婚における配偶者選択法の社会慣行である「見合い結婚制度」というわが国の文化的特徴や、結婚生活が健康にとって有利な生活条件を作り出すことと密接に関連している。」とし、「実証的な分析から、結核をはじめとしていくつかの死因において配偶者の選別が働く効果が、未婚者死亡率の高さに関連している」ことを明らかにした。

しかし、最近になると男子における有配偶者と無配偶者の死亡格差は依然として認められるものの、女子の未婚者と既婚者との死亡率の乖離は薄れ、もはや男子と同様に有配偶者と無配偶者の差となりつつあるように思われる。これは、近年における晩婚化とそれに伴う未婚者の増加によるものであり、従来考えられていたような「結婚の選別機能」の影響が薄れてきたことによる。

また、今回の分析では、死別者の若年齢が顕著な高死亡率を示している点について、そのデータの精度や阪神・淡路大震災の発生の影響等の検討を行うとともに、従来行ってきた補整法についても検証した。その結果、単に、若年齢の死別者人口が少数であることに起因した一時的なデータのブレによる影響ではなく、高死亡率を示していることがわかった。そのような高死亡率を示す要因として、統計処理上の問題が強く影響している可能性があり、そのため配偶関係間の比較や時系列変化をみる際に注意が必要となる。さらに、平均余命格差を生じさせる死因の分析を行った結果、男女とも「不慮の事故」、「自殺」、また男子の場合には「肝疾患」による差が大きいことがわかった。その3つの死因に共通していることは、病弱であるといった身体的な要因ではなく、生活環境や精神的影響等の外的要素を多く含む死因である。そして、そのような死因が直接あるいは間接的に起因して、平均余命に格差を生じさせていることは興味深い。

## 参考文献

- 石川晃（1988a）「昭和60年配偶関係別生命表」、『人口問題研究』第185号，pp.69-78  
石川晃（1988b）『配偶関係別生命表 昭和30年～60年』（研究資料第255号），厚生省人口問題研究所  
石川晃（1991）「職業別就業者の生命表：1985年」、『人口問題研究』第46巻第4号，pp.86-95

- 石川晃（1995）「職業別生命表」，山口喜一・南條善治・重松峻夫・小林和正編著『生命表研究』古今書院，pp.250-268
- 石川晃・坂東里江子（1998）『人口統計資料集 1998年版』（研究資料第295号），国立社会保障・人口問題研究所，p.80
- 石川晃（1996）「配偶関係別生命表：1990年」，『人口問題研究』第51巻第4号，pp.32-46
- 厚生省大臣官房統計情報部（1997）『平成7年 人口動態統計 中巻』
- 厚生省大臣官房統計情報部（1998a）『第18回生命表』
- 厚生省大臣官房統計情報部（1998b）『平成8年簡易生命表』
- 総務庁統計局（1996）『平成7年 国勢調査報告 第2巻 その1 全国編』
- 高橋重郷（1995）「配偶関係別にみた死亡率格差」，『厚生の指標』第42巻第1号，pp.8-14